

鈴木マサホ 2018 晩秋号 市民派議員レポート



地震・集中豪雨そして台風！

1995年の阪神淡路大震災と2011年の東日本大震災は衝撃的でした。京都市内では平成25年（2013年）の台風18号で東山山麓の土砂流出や嵐山の浸水被害が記憶に残りますが、その後は幸いにも大きな災害に会うことなく、過ごすことができました。

ところが、今年は、次々に自然の猛威が京都を襲いました。6月の大阪北部地震、西日本に甚大な被害をもたらした7月集中豪雨では、土砂災害警戒地域だけではなく鴨川などの増水により多くの避難所が開設されました。

そして、9月4日の台風21号の猛烈な暴風による住宅建物の破損、また倒木による道路の通行止め、特に左京区の山間部などでは長期にわたる停電など市民生活に大きな影響を及ぼしました。被災された方々にお見舞い申し上げます。



災害に強いまちづくりを！

私は、この4月から総務消防委員会の副委員長として、行財政局防災危機管理室や消防局との質疑で、自主防災会や消防団のご奮闘に心より敬意を表しつつ、避難所開設運営の課題や情報伝達のことなど防災・減災対策などを議論してまいりました。

京都市会では、生活支援など災害対策として緊急に編成された補正予算を可決して迅速に対応をしたところです。また今後も農業の復興や倒木対策、停電対策などの取り組みを進めるように訴えていきます。そして、災害に対する対応の点検と教訓をどうか、自助、共助、公助の在り方をもう一度問い直しながら、京都を災害に強いまちづくりをどう進めるのか大きな課題です。地域の力が問われます。これからも、市民のみなさんとともに安心・安全なまちづくりに尽力を尽くす決意です。

<未来の京都 公共政策研究会シンポジウム>と<鈴木マサホ 市政懇談会>

日時 **12月2日(日)**

会場 **ホテル平安の森京都** (左京区岡崎東天王町 電話 075-761-3130)

第1部<シンポジウム> 午後3時開会(2時30分受付) — 午後4時30分

テーマ **「地域力の新たな創造を —未来の京都のために—」**

パネラー 門川 大作 (京都市長)、鈴木 マサホ (京都市会議員)、小島 雅子 (女性企業家)

コーディネーター 真下 仁志 (住養総合政策研究所代表)

●参加費 無料

第2部<市政懇談会> 午後5時—7時

ゲスト 前原誠司 衆議院議員

会費 6,000円 (食事・ビール付)

2018年 京都市会の動き

9月市会 9月19日～10月25日

●市長総括質疑で登壇！



10月17日に開催された決算特別委員会の市長総括質疑では、自治記念120周年、世界文化自由都市宣言40年のことを述べて、リーマンショックの危機を乗り越え間断のない行財政改革を進め、社会保障費を確保、芸大への移転計画の推進、待機児童の解消や市バスと地下鉄の経常の評価、四条通の歩道の拡幅や屋外広告物の規制は京都の街の都市の品格を向上させ、観光振興にも取り組み、観光客の増大や民泊のことも課題があるが、都市評価総合点で総合1位になったことなど述べてこの10年の総括を求めました。

また回復力・復元力、また強靱しなやかさを意味する「レジリエントシティ戦略」の取り組みについても質疑。台風や地震などを突発性外的ショックとして危機管理や、環境汚染や人口減少・少子高齢化、地域コミュニティの希薄かなど社会問題の内的ストレスにどう対応するのか、地域力、市民力が、困難な時代に未来を切り開くと考えるが、「レジリエントシティ構築」に向けての推進を求めました。

7月の集中豪雨では、今まで経験のしなかった数の避難所が開設されたが、区役所、消防署、自主防災会、消防団、また教育委員会との情報伝達や地域の各団体の連携の必要性など防災減災の取り組みに点検して改善することを求めました。

加えて2016年秋に「省エネルギーや再生可能エネルギーによる持続可能な地域社会の実現」をテーマにデンマーク調査団として環境教育の充実、市民参加による地域再生を視点に提案したことについて、科学地球儀ダジャックアースが青少年科学センターに設置されることを評価。この2月にはCOP3から20年地球環境京都会議+

20」が開催されて、持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言がされたが、2019年5月にIPPC（気候変動に関する政府間パネル）5月に開催に向けて今後も環境先進都市を目指してほしいと注文。答弁も含めて17分間という制約がありました。京都市会ホームページでは総括質疑の様子が録画で見れます、御高覧くださいね。

緊急災害対策の補正予算を可決！

暴風が猛威をふるった台風24号による爪痕が残る中、9月市会が始まりました。大阪府北部地震の教訓として、公共施設や福祉施設の危険性のあるブロック塀への撤去対策、7月豪雨による道路や河川等の被害に対する復旧・支援、防災・減災対策に要する経費等40億円8千万円を含む総額88億円の補正予算を議員報酬のカット分7700万円を災害対策に充当する補正予算を修正して可決しました。

また台風21号被害に伴う緊急財政措置として損壊等の被害が生じた住宅への支援、学校施設や街路樹、農林、文化財等の被害の復旧に対応するべく補正予算8億3800万円を可決しました。山林の倒木対策や道路や二条城の復旧については、国等との協議が調い次第、第二弾の財政措置を講じられることとなります。

住宅被害を受けられたみなさん、ぜひいちど相談してみてください。

29年度一般会計や公営企業決算を認定！

10月25日の市会本会議では、市役所庁舎整備や安祥寺中学校増築工事や市営住宅、賀茂大橋補修工事など請負契約の議案、京都市地域コミュニティ活性化推進条例の改正などを可決。そして、29年度一般会計と上下水道・市バス・地下鉄公営企業会計やその他の歳入歳出決算については、国民みらい議員団を代表して登壇して原稿を読み上げて賛成討論を行い、全て認定しました。

<可決した意見書と決議>

「地震や台風等の災害対策」「学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保」「地方消費者行政に対する財政支援（交付金等）の継続・拡充」「児童虐待防止対策の更なる強化」「幼児教育・保育の無償化に係る国への意見書」など意見書を可決。

決議については「今年度の一連の災害を踏まえた災害対策を求める決議」と「山本ひろふみ議員に対する問責決議について」も可決。

●未来の京都公共政策研究会

京都市政や地域の課題を解決するために2015年に立ち上げた＜未来の京都公共政策社会問題研究会＞は4期目を迎えました

今期は、元京都市副市長でレジリエント・シティ京都市統括監の藤田裕之さんから「都市のレジリエンス構築に向けて～京都市の課題と展望」について報告いただき、しなやかな、復元力のある持続可能かつ創造的な京都市をどう創るかを議論。

2回目は多田吉宏左京副区長から「左京区の現状・課題と今後のまちづくり」で報告をいただき、特に地震、集中豪雨、台風の後でもあり、防災対策について議論があり、地域で多様な世代、団体によるまちづくりを進め、左京の魅力をますます向上させたいと盛り上がりしました。

また3回目は「きょうと介護保険にかかわる会」理事長の梶宏さんを囲んで、「健康長寿社会を実現するために」をテーマに、介護保険の課題や健康寿命をいかに長くするか、いきいき、楽しく、健康に生きるためには社会をどうするか、熱心に討論しました。



●真夏の夜の鈴木マサホ市政懇談会

7月31日鈴木事務所で市政懇談会を開催。たくさんの方の参加者で満員御礼。今回は6月の地震、そして7月の豪雨に関わり、被害状況や避難所開設とそこで見えてきた課題について特に自主防災会の方から多くの意見をいただきました。様々な課題について、委員会などで議論をしました。ご参加いただいたみなさんありがとうございました。



2018年4月から10月 ひとくち日記メモ

4月

- 8日 西脇隆俊さん京都府知事に当選
- 24日 市会本会議、総務消防委員会副委員長に就任
- 25日 大阪と神戸のインターナショナルスクールを視察
- 27日 韓国と北朝鮮の南北首脳会談
- 29日 連合京都中央メーデー

5月

- 7日・8日 国民民主党設立大会、地方自治体議員フォーラム
- 14日 京都市児童相談所を視察
- 15日 民進党市会議員団から国民・みらい京都市会議員団に名称変更
- 20日 左京消防分団総合査閲
- 17日—31日 5月市会
- 27日 朝粥の会 京大タテカン問題
- 31日 本会議 簡易宿所開設に関連する「京都市旅館業法の改正」可決。付帯決議で討論に立つ。
- 31日・1日 京丹後市で連合京都議員フォーラム。舞鶴火力発電所を視察

6月

- 3日 京都市消防団総合査閲
- 12日 歴史的な米朝首脳会談開催
- 13日 市民憲章推進者表彰式典
- 16日 一日児童館「かもっこ」視察
- 18日 大阪北部地震 京都震度5強
- 30日 左京介護予防フェスティバル

7月

- 2日—3日 議員団他都市調査で岡山、別府、大分市を視察
- 5日 大雨警報発令！避難勧告指示。
- 6日 吉田学区などに避難勧告 避難所をまわる
- 7日 吉田山の北東が土砂崩壊
- 15日 吉田山里山再生の会
- 18日 京都市戦没者追悼式
- 20日 京都自治研集会
- 26日 7月特別市会 醍醐小栗栖に 大岩山の崩落現場に
- 29日 逆走台風台風12号襲来 左京ふれあいまつり中止
- 31日 鈴木マサホ市政懇談会

8月

- 1日 食の安全・安心デーキャンペーン
- 5日 久多の里山夏まつり、百井の里
- 7日 連合京都議員フォーラム公契約条例学習会
- 19日 国民民主党京都府連結成大会
- 20日—23日 総務消防委員会 他都市調査。東京都、川崎市、札幌市を視察
- 25日 未来の京都研究会「レジリエントシティとは」、吉田東通の夜市
- 26日 岩手県一関で東北地方自治体議員フォーラム研修会
- 27日—28日 陸前高田、気仙沼、南三陸、女川、石巻を視察



陸前高田の奇跡の一本松

9月

- 3日 総務消防委員会大和学園を視察
- 4日 国民民主党臨時大会代表選挙 台風21号暴風が京都を襲う
- 6日 北海道で地震
- 7日 障害者ワークフェアの表彰式
- 8日 吉田山の倒木撤去作業
- 15日 未来の京都研究会「左京区の現状・課題と今後のまちづくり」、岡崎ハレ舞台ディズニーパレード

- 18日 台風21号の暴風被害の視察で百井、花背、広河原、久多に



- 19日—10月25日 市会 補正予算と29年度決算その他の議案を審議
- 19日 京都国際会館「ニューホール」竣工式
- 26日 議員研修会「近代京都の都市改造と公共性一」
- 30日 台風24号襲来、区民運動会など中止

10月

- 14日 吉田今宮社神幸祭。剣鉾を差す！
- 15日 自治120周年記念式典
- 16・17日 決算特別委員会市長総括
- 20日 京都市自主防災会連絡会発足式、未来の京都研究会「健康長寿社会を実現するために」
- 25日 市会本会議 29年度決算を認定、その他の議案を可決
- 26日 美浜原発など視察
- 27日 鴨沂高校新校舎落成記念式



編集後記

みなさんに京都市会に送ってもらったのは昭和の時代、昭和62年（1987年）のことでした。それから田辺市政6年、梶本市政12年、門川市政10年の平成の時代を市会議員として駆け抜けてまいりました。多少なりとも京都市政の発展、市民生活の向上、まちづくりに寄与できていれば、幸いです。ご支援いただいたみなさんに心より御礼を申し上げます。

来年1月には古希を迎えますが、この32年8期の実績と経験を生かして、これからも京都市政の御意見番として、生涯現役で団塊の世代、シルバー世代の代表として、未来の京都のために、左京区民の生活の向上、まちづくりにまい進する決意です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

編集・発行 市会議員 鈴木マサホ 鈴木マサホ事務所

〒606-8313 京都市左京区吉田中大路町17-1
TEL 075-761-5537 FAX 075-761-5591
Mail suzuki@masaho.com HP masaho.com
印刷 福祉工房 P&P キャッチアップ

生涯現役！

